

食事内容を確認することで薬剤との相互作用を回避

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は薬剤の特性を把握し、入院中の食事と薬剤の相互作用を事前に回避した事例を元にしたプレアボイド報告を紹介いたします。

患者背景

Aさん

・突発性血小板減少性紫斑病に対し、レボレード[®]錠が内服開始となった。



Rp) レボレード[®]錠(12.5mg) 眠前 1回1錠

薬剤師がカルテを確認

新規開始となっているレボレード[®]錠は「制酸剤、乳製品、多価陽イオン製剤等とともに服用すると血中濃度が低下するので、服用前4時間及び後2時間はこれらの摂取を避けること」となっている薬剤だな。他の薬剤との相互作用は大丈夫！入院中の食事はどうなっているだろう？

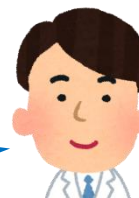


看護師

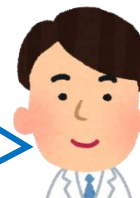


Aさんは現在どのような食事を摂られていますか？

普通食です。



今日から開始となっているレボレード[®]錠という薬剤ですが、乳製品と併用することで血中濃度が下がってしまう可能性があります。牛乳・乳製品禁止食に変更して頂いた方が効果を得られます。



分かりました。眠前のタイミングで服用していても服用前4時間の摂取を避けることができませんね。今日の夕食から牛乳・乳製品禁止食に変更してもらいます。

薬剤の特性・使用上の注意を把握し、患者の食事内容について確認を行うことで薬剤との相互作用を回避し、適切な薬物療法に貢献できた。